

将来のアジアを担う人材を育成する「リードアジア 2018」開催 ～日中の学生が企業の課題に対する解決策を提案～

国際交流基金と日中学生交流連盟は、2018年8月18日から26日まで、アジアに精通（Read）し、将来のアジアを導く（Lead）人材を育成するプログラム「リードアジア 2018」を開催します。

2013年にスタートし、6回目となる今年は、日中あわせて過去最多となる44名の学生が参加。日本企業9社と外務省の協力による企業研修やワークショップ、文化交流などを約1週間の日程で実施します。

企業から出されたビジネス課題について、日中混合のグループに分かれて議論。解決策を考え、企業に提案します。

なお、8月24日（金）18:30より、上位3グループによる提案発表会を国立オリンピック記念青少年総合センターで行います。ぜひご取材くださいようお願い申し上げます。



写真：発表会の様子

記

【日 時】 2018年8月18日（土）～ 26日（日）

【参加者】 44名（日本人：22名、中国人留学生：10名、中国本土からの学生：12名）

【訪問・協力予定企業・機関】 10社（五十音順）

アビームコンサルティング株式会社、外務省、株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベル、全日本空輸株式会社、日本電気株式会社、日本放送協会、藤田観光株式会社、株式会社ホトロン、株式会社マイナビ、株式会社三菱 UFJ 銀行

【スケジュール】

18日	19日	20日～23日	24日	25日	26日
開会式	文化交流	企業訪問	発表会・懇親会	文化交流	閉会式

※すべての日程でご取材いただくことが可能ですが、企業訪問では個別の調整が必要ですのでご相談ください。

※8月24日（金）発表会・懇親会は18:30～21:30、国立オリンピック記念青少年総合センターで行います。

【共 催】 国際交流基金日中交流センター、日中学生交流連盟

◆「リードアジア」プログラム

アジアを学び、精通することを表す「Read」と、将来アジアを導くことを表す「Lead」の両方の意味を持つ。文化交流に加えて企業研修を取り入れることで、もともと国際交流に興味がある学生のみならず、より広範な学生の関心を引くプログラムとして企画されている。今年は、「心を繋ぐ、日中を繋ぐ、未来を繋ぐ」をテーマに掲げ、企業訪問を交流の場に活発な議論をぶつけあうなど濃密な時間を過ごすことで、国境や価値観の違いを超えた相互理解を深める。

◆日中学生交流連盟（Japan China Student Frontier Group）

日本と中国の交流活動に携わる10の学生団体が共同で運営。2012年10月に発足し、日本と中国のパイプをより太くしていくために活動している。

以上

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 日中交流センター（担当：諸田）

Tel: 03-5369-6074 / Fax: 03-5369-6043 / E-mail: fureai@chinacenter.jp

取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp